

学習院女子高2 英語コミュニケーション

1 学期中間考査(2024.5)

～ 概要～

試験時間	分		
	形式	設問概要 基本(テキスト内) / 応用	時間配分予想
[1]	リスニング(空欄補充)	基本	分
[2]	リスニング(マークシート)	基本	分
[3]	リスニング(マークシート)	基本	分
[4]	長文読解	基本	分
[5]	英文書き換え	基本	分
[6]	空欄補充(短答式)	基本	分
[7]	整序英作文	基本	分
[8]	空欄補充(短答式)	基本	分
[9]	長文読解	基本	分
[10]	長文読解	基本	分
[11]	空欄補充(短答式)	基本	分
[12]	整序英作文	基本	分
[13]	和文英訳	基本	分
[14]	長文読解	基本	分
[15]	語彙(マークシート)	基本	分
[16]	整序英作文	基本	分

～ [1] リスニング (空欄補充) ～

✓ **形式**

: 放送を聞いて英文の中の空欄を補充する。放送回数は2回。

✓ **問題数**

: 3問 (空欄の数は7つ)。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 動詞や副詞など様々な品詞が出題されている。とくにここではスペルのLとRの違いに気を付けたい。加えてLendとrentなどの間違いやすい単語や、regardlessなど比較的長い単語も出てきているのでスペルミスは避けたい。

～ [2] リスニング (マークシート) ～

✓ **形式**

: 英文を聞き、質問 (英語) にもっとも適切な答えを4つの選択肢から選ぶ。放送回数は1回。

✓ **問題数**

: 3問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 選択肢が文になっているのでいかに早くそれらのキーワードを抜き取るかが重要。選択肢のAからCはすべて異なる事を主張しているので英文を聞きながら選択肢を消していく必要がある。よって、このセクションが始まる前にあらかじめ選択肢に目を通しキーワードをかこっておくことで1度の放送に集中して聞く事が可能になる。

～ [3] リスニング (マークシート) ～

✓ **形式**

: 放送を聞いて内容に合っている英文2つを選択肢5つの中から選ぶ。放送回数は1回。

✓ **問題数**

: 1問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: この問題も[2]と同じで事前に目を通してキーワードを囲んでおく。それに加え、放送される文章が長くなることが予想されるので重要な事はメモをとることであとでの見直しが可能になる。

～ [4] 長文読解～

✓ **形式**

: accessibility に関しての長文を読み、問いに答える。問いは空欄補充(日本語訳有)や整序英作文、記述式の問題、英単語抽出などが含まれる。

✓ **問題数**

: 6問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 並べ替えなど問題文中に多くの設問や空欄があり、そのまま読もうとすると読みにくいいため、長文を読み始める前に並べ替えや日本語訳のある空欄補充から行うべき。そして、ある程度空欄が減ってから記述式の問題などに取り組むことで集中力を維持し、内容を汲み取りやすくなる。

～ [5] 英文書き換え～

✓ **形式**

：指定された英単語を含め全文を書く。指定の英単語（動詞）は現在分詞か過去分詞に変更する必要がある。

✓ **問題数**

：2問。

✓ **配点**

：(省略)

✓ **ポイント**

：指定された単語がどの名詞にかかっているのかを明確にできるようにしておくことが大切。そしてその名詞が「～される」のか「～する」のかを考える。例えば、problems という名詞に confuse を追加して「紛らわしい問題」としたい場合、紛らわしいのは問題なので confuse を現在分詞に変更し confusing problems となる。一方で photos に take in ○○という単語を入れて「○○で撮られた写真」とする場合には photos は「撮られる」ため photos taken in ○○となる。このとき名詞の前後どちらに単語が来るのかは追加する単語の数で決まる。Confusing という1語のみの場合は名詞の前、taken in ○○などの複数の単語の場合は名詞の後ろに来る。

～ [6] 空欄補充（短答式）～

✓ **形式**

：日本語の文に合うように空欄に単語を書く。

✓ **問題数**

：4問。

✓ **配点**

：(省略)

✓ **ポイント**

：現在分詞と過去分詞のどちらかが入る問題が3問。[6]のポイントを押さえておくことで問題なく解ける。その他慣用句が1問あり、on earth という句。これは疑問文の時に多く使われ why on earth…? で内容を強調し「一体全体なんで・・・をしたんだ!？」というような訳になる。

～ [7] 整序英作文～

✓ **形式**

: () 内の語句を並べ替え、文頭を大文字にして正しい文章を作る。

✓ **問題数**

: 5 問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 現在分詞と過去分詞が名詞の前後どちらにつくのかがこの問題のポイント。それらの分詞は1つなのか、他に場所や by ○○などの「○○によって～された」というように単語が続くのかを見分ける。見分ける時のポイントとしては、最初に副詞など修飾語を含まないシンプルな文章を作ってみる。そうすることでその修飾語がどこに係るのかを見つけやすくなる。

～ [8] 空欄補充 (短答式) ～

✓ **形式**

: 日本語の文に合うように空欄に適切な語句を書く。

✓ **問題数**

: 4 問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 現在・過去分詞の問題に加えて、否定に対して同意する文が含まれている。A さんが I don't like this. と言い、B さんもそれに賛同するとき、Me, too. ということは出来ず、Neither や either という単語を用いる必要がある。Neither do I. で「私もこれが好きではない」という意味になり I don't like this either. も同じ意味。

～ [9] 長文読解～

✓ **形式**

：ある人が書いた記事についての長文読解。問いの形式は[4]の長文読解と同じ。

✓ **問題数**

：6問。

✓ **配点**

：(省略)

✓ **ポイント**

：英文中に日本語が書かれていてそれらを文章に合うように英語に直す問題ではどの品詞の単語が来るのかを考える必要がある。例えば I want to (～に関わる) all levels of Japanese society. の日本語部分を3語の英単語に直す場合には want to の後には動詞、そして3語目の後に all とあるため最後に冠詞は来ない。少しでも選択肢を減らすことが空欄に適切な単語をいれることに繋がる。

～ [1 0] 長文読解～

✓ **形式**

：アドバイスに関する記事を読み問いに答える。

✓ **問題数**

：3問。

✓ **配点**

：(省略)

✓ **ポイント**

：語彙や英作文のスキルよりも内容の理解が主に問われている。特に指示語が何を指しているのかなどをクリアにしておくことで完答を目指すことができる。

～ [1 1] 空欄補充 (短答式) ～

✓ **形式**

: 日本語の文同じ意味になるように適切な英単語を補う。

✓ **問題数**

: 10問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 現在・過去分詞や現在完了形などが混ざって出題されている。時制に加えて名詞と分詞の関係に注意しながら問題文を読み解く事が重要。

～ [1 2] 整序英作文～

✓ **形式**

: () 内の英単語を正しく並べ替えて英文を作る。文頭は大文字にする。

✓ **問題数**

: 3問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 現在・過去分詞の文を作ることができるようにしておく。文が複雑で作るのが難しい時には文節で考えて区切る。例えば、「これ / が / 多くの人の人生 / に / 影響を与えた本 / です。」と区切り、だんだんとその単語1つ1つを長くしてつなげていく。

～ [1 3] 和文英訳～

✓ **形式**

：日本語の文を英語に直す。(語数や単語など指定なし)

✓ **問題数**

：2問。

✓ **配点**

：(省略)

✓ **ポイント**

：「the+比較級, the+比較級.」で「～すればするほど～になる。」という意味。「too(形容詞)to do」で「(形容詞) すぎて～できない。」という意味。これらの用法を覚えて活用できるようにしておくこと。

～ [1 4] 長文読解～

✓ **形式**

：世界の情勢に関する英文を読んで問いに答える。

✓ **問題数**

：7問。

✓ **配点**

：(省略)

✓ **ポイント**

：固有名詞が多く出てくるのでそれらに戸惑わないように注意。分からない単語が出てきた時はざっと全体を読んで全体の内容を把握することに努める。また、問題で選択肢が出てきた時にはキーワードを囲むなどして区別する。

～ [15] 語彙 (マークシート) ～

✓ **形式**

: ある単語の意味を説明している英文と正しい英単語を合致させる。

✓ **問題数**

: 3問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: 単語は全て名詞ではあるが、説明のところに a person なのか belief なのか記載があるのでそれによって選択肢を絞る必要がある。

～ [16] 整序英作文～

✓ **形式**

: 日本語の文に合うように () 内の語句を並べ替える。

✓ **問題数**

: 2問。

✓ **配点**

: (省略)

✓ **ポイント**

: be about to do で「まさに何かをしようとしている・何かをする直前である」という慣用句になる。このセクションでは1つずつの語句がある程度まとめられている (the doorbell / the house など、複数の単語が1つのセットになっているものもある) ので慣用句を知っていれば比較的解きやすい問題。

～ 総評～

✓ 対策ポイント

：現在・過去分詞の文を作ることができるようにしておく。また、慣用句が多く出題されているのでそれらの形と用法を覚えておく。長文読解も多く出題されているので短時間で集中力を保ちながら読むことができるようにしておく。

✓ 傾向と対策

：慣用句については、それを使って時制や主語などの異なる文をたくさん作ることで慣れて整序英作文などで活用できる。長文読解は数をこなすことに加えて、解き方を工夫することでも集中力を維持することができる。